

(第 21 回)

トラック運送業界の景況感

(令和 4 年 1 月～3 月期)

令和 3 年度第 4 四半期の景況感調査では感染力の強い新型コロナウイルスのオミクロン株の登場により、経済活動が鈍化し、荷動きの悪化が見られた。

実働率・実車率を見てみると「やや上昇」との回答が減っており、「やや低下」との回答が増えている。これは、前回調査時には新型コロナウイルス感染状況について改善傾向がみられていたが、オミクロン株やまん延防止等重点措置による自粛ムードを受け、荷動きの停滞がみられた影響だと考えられる。

次に、営業収入と営業利益を見てみると、どちらも「大幅に減少」、「やや減少」との回答が増えている。「物量が小口化し、燃料代・高速代が増え、収益を切迫している」との声や「燃料の高騰のため、収益が悪くなっている。このまま高止まりするとやっていけない」との声があるように、燃料価格の高止まりの影響を受け、非常に厳しい状況に置かれている運送事業者が多くあった。なお、「標準的な運賃の説明や、燃料高騰やコロナ禍での実情等を荷主と常に話し合っている」という声や「燃料問題をはじめ、人員確保の重要性等をアピールし、交渉している」という声があり、荷主との交渉の場は設けることができているものの、現時点では運賃価格の値上げまでは至っていないという声が多数あった。新型コロナウイルス感染拡大や燃料価格の影響で事業を縮小した荷主もあり、まだまだ運賃の値上げ交渉は難しい状況にあると言える。

業界の景況感を見てみると、「やや悪化」と感じている運送事業者が大幅に増えていた。「世界的な半導体不足によって景気が後退している」との声や、「燃料高騰等により物価上昇」、「2024 問題を見据え、モーダルシフトが加速していく」との声があり、トラック等の固定費や人件費、燃料費が高騰する等、業界の景況感はトラック運送事業者にとって逆風であると感じる声が多かった。今後も世界情勢等の影響から資源高騰、油断の許されない状況が続くとみられる。

最後にドライバーの過不足の先行きについて「不足」、「やや不足」という回答が 5 割を超えており、人材確保に不安の持つ運送事業者が多いことがわかる。トラックドライバーの定着率を向上させるために、「社内の人事評価制度改革を行なう」という声や、「トラックドライバー達の賃上げのための荷主交渉を行なう」との声等、何とかして労働環境の改善に努める運送事業者が多くあった。

オミクロン株および燃料価格の高騰の影響により、再びトラック運送業界は厳しい状況に置かれている。また、今後もウクライナ情勢による原材料価格の高騰に加え、歴史的な円安による物価高もあり、運送事業者は非常に苦しんでいる。政府の燃料価格高騰の対策として、トリガー条項の凍結解除や補助金等、各種政策について積極的な実行に期待を寄せている。

令和 4 年 4 月 28 日

一般社団法人大阪府トラック協会

トラック運送事業者における景況感調査（大ト協 第21回）

令和4年1月～3月期調査票

1. ドライバー数（人）

1～10人	9 社	14.8%	51～100人	4 社	6.6%
11～20人	23 社	37.7%	101～300人	3 社	4.9%
21～30人	11 社	18.0%	301人～	0 社	0.0%
31～50人	11 社	18.0%	未回答	0 社	0.0%

2. 女性ドライバー数

61 社中 12 社 平均人数 2.6 人

3. 1社あたりの保有台数

1～10両	7 社	11.5%	51～100両	7 社	11.5%
11～20両	22 社	36.1%	101～300両	2 社	3.3%
21～30両	11 社	18.0%	301両～	1 社	1.6%
31～50両	11 社	18.0%	未回答	0 社	0.0%

4. 取扱品目

	1位	2位	3位
1. 農水産品	0 社	0 社	0 社
2. 林産品（原木、製材、薪炭等）	2 社	0 社	0 社
3. 鉱産品①（砂利、砂、石材）	0 社	1 社	0 社
4. 鉱産品②（3. 以外の 鉱産品、石炭、原油等）	0 社	0 社	0 社
5. 金属（鉄鋼、電線・ケーブル等）	3 社	6 社	1 社
6. 金属製品①（建設・建築用金属製品）	3 社	1 社	0 社
7. 金属製品②（6. 以外の金属製品、刃物、工具等）	2 社	3 社	2 社
8. 電気機械	6 社	4 社	1 社
9. 輸送機械（自動車、自動車部品等）	3 社	3 社	2 社
10. その他機械（産業機械等）	3 社	1 社	1 社
11. 窯業品（セメント、ガラス等）	5 社	0 社	1 社
12. 石油製品（揮発油、重油等）	1 社	0 社	0 社
13. 石炭製品（コークス等）	0 社	0 社	0 社
14. 化学薬品（硫酸、ソーダ等）	3 社	3 社	0 社
15. 化学肥料	0 社	0 社	3 社
16. その他化学工業品（顔料、合成樹脂等）	5 社	6 社	1 社
17. 紙・パルプ	7 社	5 社	1 社
18. 繊維工業品	1 社	0 社	0 社
19. 食料工業品	3 社	2 社	5 社
20. 日用品	4 社	7 社	8 社
21. その他製造工業品（ゴム皮革製品、木製品等）	0 社	1 社	2 社
22. 特殊品（廃棄物、引越荷物等）	0 社	3 社	1 社
23. その他	9 社	2 社	4 社
24. 未回答	1 社	13 社	28 社

トラック運送事業者における景況感調査結果(令和4年1月～3月期)

※206社中61社回答

実働率	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答				
前年同期比	2 3.3%	11 18.0%	27 44.3%	21 34.4%	0 0.0%	0 0.0%				
前期比	0 0.0%	14 23.0%	29 47.5%	18 29.5%	0 0.0%	0 0.0%				
先行き	0 0.0%	6 9.8%	37 60.7%	18 29.5%	0 0.0%	0 0.0%				

実車率	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答				
前年同期比	1 1.6%	12 19.7%	27 44.3%	21 34.4%	0 0.0%	0 0.0%				
前期比	0 0.0%	12 19.7%	31 50.8%	18 29.5%	0 0.0%	0 0.0%				
先行き	0 0.0%	6 9.8%	37 60.7%	18 29.5%	0 0.0%	0 0.0%				

ドライバーの過不足	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答				
今期の状況	4 6.6%	33 54.1%	22 36.1%	2 3.3%	0 0.0%	0 0.0%				
先行き	10 16.4%	30 49.2%	21 34.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%				

ドライバーの採用状況	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答				
前年同期比	0 0.0%	6 9.8%	49 80.3%	5 8.2%	1 1.6%	0 0.0%				
前期比	0 0.0%	4 6.6%	51 83.6%	5 8.2%	1 1.6%	0 0.0%				
先行き	0 0.0%	10 16.4%	46 75.4%	3 4.9%	2 3.3%	0 0.0%				

ドライバー以外の過不足	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.不足	2.やや不足	3.適当	4.やや過剰	5.過剰	6.未回答				
今期の状況	3 4.9%	16 26.2%	40 65.6%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%				
先行き	3 4.9%	19 31.1%	37 60.7%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%				

ドライバー以外の採用状況	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答				
前年同期比	0 0.0%	3 4.9%	56 91.8%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%				
前期比	0 0.0%	3 4.9%	55 90.2%	2 3.3%	0 0.0%	1 1.6%				
先行き	0 0.0%	4 6.6%	53 86.9%	3 4.9%	0 0.0%	1 1.6%				

所定外労働時間 (休日労働を含む)	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答				
前年同期比	0 0.0%	8 13.1%	34 55.7%	18 29.5%	1 1.6%	0 0.0%				
前期比	0 0.0%	10 16.4%	31 50.8%	18 29.5%	2 3.3%	0 0.0%				
先行き	1 1.6%	7 11.5%	39 63.9%	13 21.3%	1 1.6%	0 0.0%				

貨物の再委託の割合	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答				
前年同期比	0 0.0%	10 16.4%	28 45.9%	14 23.0%	4 6.6%	5 8.2%				
前期比	0 0.0%	9 14.8%	28 45.9%	16 26.2%	3 4.9%	5 8.2%				
先行き	1 1.6%	4 6.6%	36 59.0%	13 21.3%	2 3.3%	5 8.2%				

経常損益	件数 %		件数 %		件数 %		件数 %		件数 %	
	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答				
前年同期比	0 0.0%	9 14.8%	23 37.7%	27 44.3%	2 3.3%	0 0.0%				
前期比	0 0.0%	6 9.8%	23 37.7%	30 49.2%	2 3.3%	0 0.0%				
先行き	1 1.6%	2 3.3%	32 52.5%	24 39.3%	2 3.3%	0 0.0%				

業界の景況感	1.大幅に好転	2.やや好転	3.変化なし	4.やや悪化	5.大幅に悪化	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	9 14.8%	21 34.4%	30 49.2%	1 1.6%	0 0.0%
前期比	0 0.0%	7 11.5%	25 41.0%	28 45.9%	1 1.6%	0 0.0%
先行き	1 1.6%	4 6.6%	25 41.0%	27 44.3%	4 6.6%	0 0.0%

今期の水準	1.良い	2.ふつう	3.悪い	4.未回答	比較値
	4 6.6%	34 55.7%	22 36.1%	1 1.6%	-29.5

輸送数量全体	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 1.6%	10 16.4%	27 44.3%	21 34.4%	1 1.6%	1 1.6%
前期比	0 0.0%	8 13.1%	28 45.9%	23 37.7%	1 1.6%	1 1.6%
先行き	2 3.3%	2 3.3%	38 62.3%	16 26.2%	2 3.3%	1 1.6%

取扱い1位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	1 1.6%	8 13.1%	27 44.3%	22 36.1%	2 3.3%	1 1.6%
前期比	0 0.0%	6 9.8%	30 49.2%	22 36.1%	2 3.3%	1 1.6%
先行き	2 3.3%	2 3.3%	34 55.7%	19 31.1%	3 4.9%	1 1.6%

取扱い2位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	6 9.8%	26 42.6%	14 23.0%	2 3.3%	13 21.3%
前期比	1 1.6%	5 8.2%	26 42.6%	14 23.0%	2 3.3%	13 21.3%
先行き	1 1.6%	5 8.2%	29 47.5%	10 16.4%	3 4.9%	13 21.3%

取扱い3位品目	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	2 3.3%	19 31.1%	11 18.0%	1 1.6%	28 45.9%
前期比	0 0.0%	2 3.3%	17 27.9%	13 21.3%	1 1.6%	28 45.9%
先行き	1 1.6%	0 0.0%	19 31.1%	11 18.0%	2 3.3%	28 45.9%

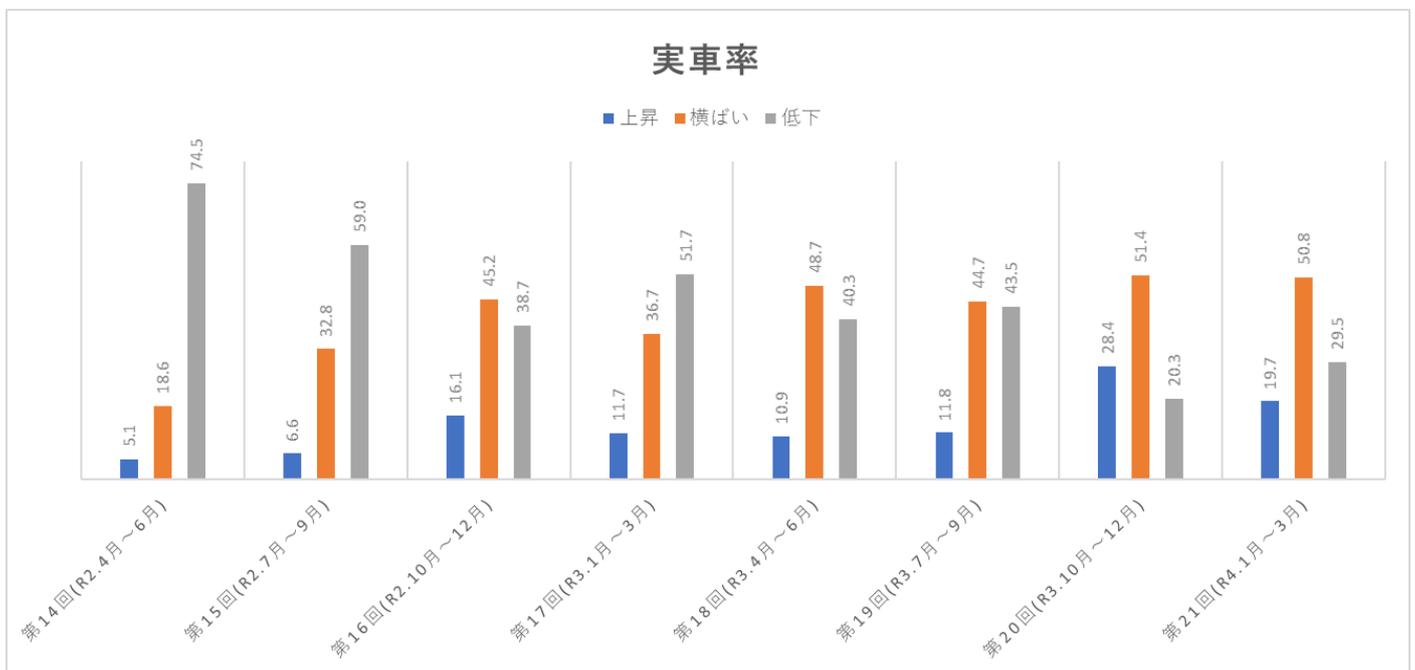
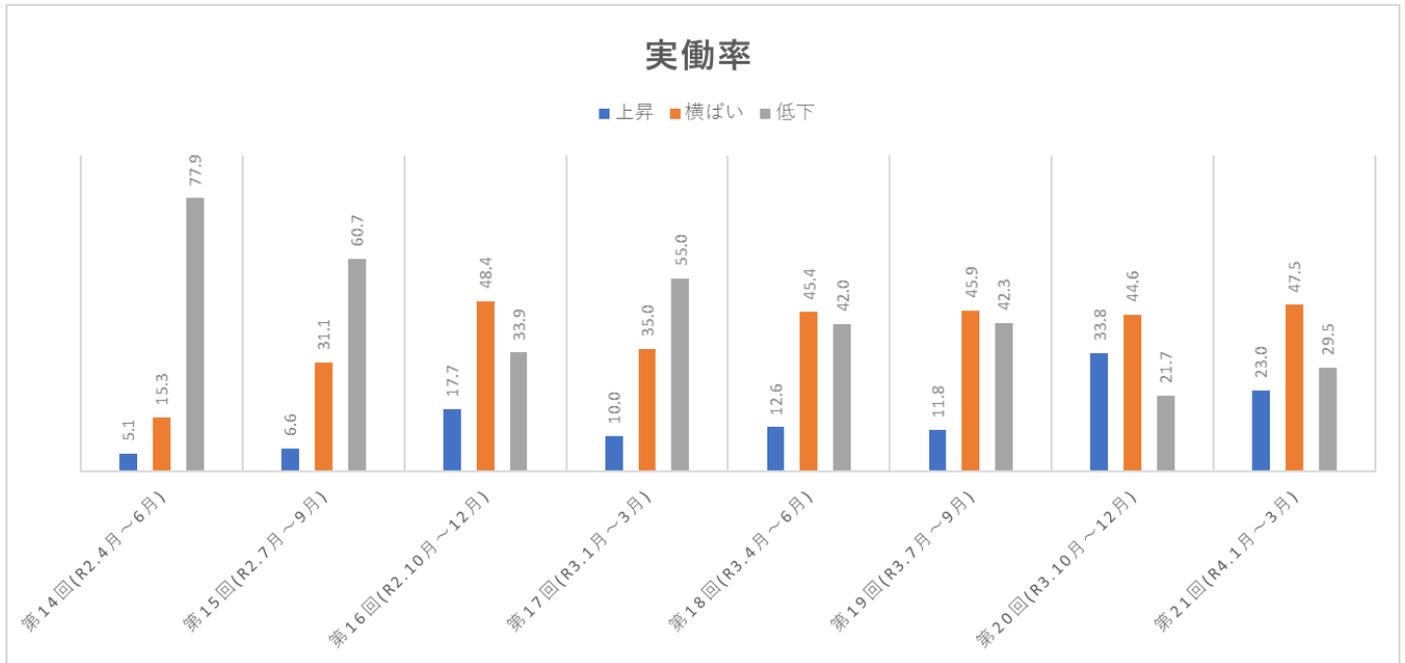
営業収入(売上高)	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	15 24.6%	25 41.0%	19 31.1%	1 1.6%	1 1.6%
前期比	0 0.0%	11 18.0%	24 39.3%	24 39.3%	1 1.6%	1 1.6%
先行き	1 1.6%	6 9.8%	30 49.2%	20 32.8%	3 4.9%	1 1.6%

営業利益	1.大幅に増加	2.やや増加	3.変わらない	4.やや減少	5.大幅に減少	6.未回答
前年同期比	0 0.0%	10 16.4%	22 36.1%	25 41.0%	3 4.9%	1 1.6%
前期比	0 0.0%	7 11.5%	21 34.4%	29 47.5%	3 4.9%	1 1.6%
先行き	1 1.6%	4 6.6%	31 50.8%	21 34.4%	3 4.9%	1 1.6%

運賃・料金の水準	1.大幅に上昇	2.やや上昇	3.横ばい	4.やや低下	5.大幅に低下	6.未回答
前年同期比	1 1.6%	7 11.5%	51 83.6%	1 1.6%	0 0.0%	1 1.6%
前期比	1 1.6%	5 8.2%	54 88.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.6%
先行き	0 0.0%	5 8.2%	54 88.5%	0 0.0%	1 1.6%	1 1.6%

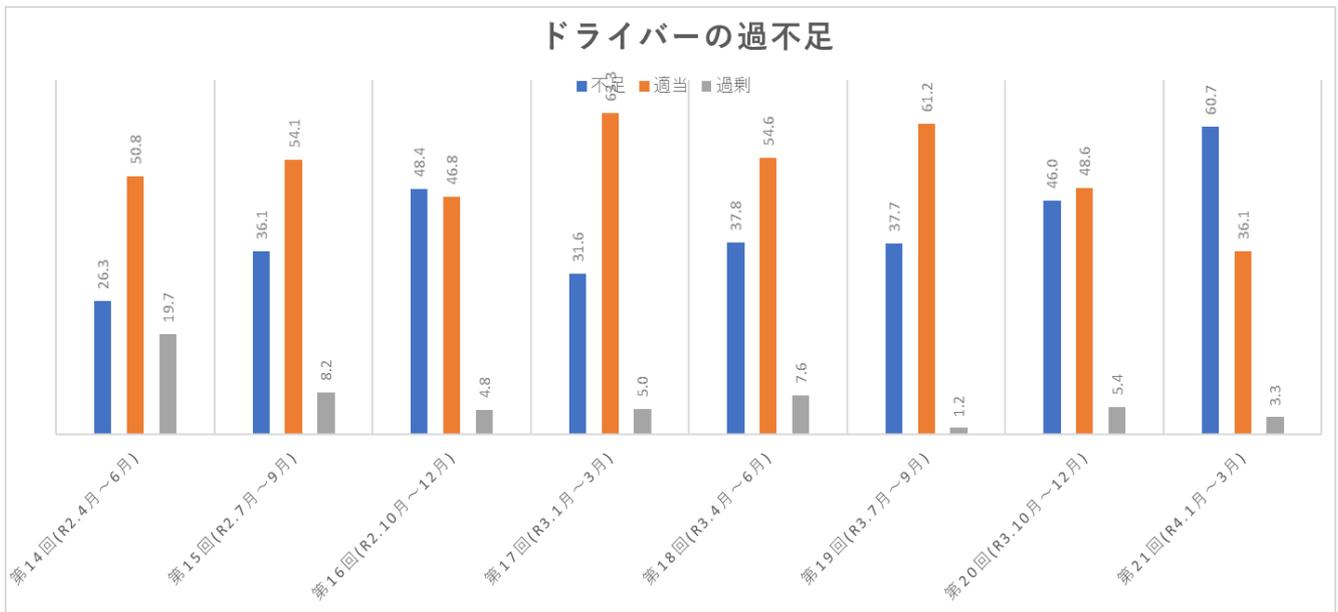
○実働率・実車率

実働率の前期比について「低下」が7.8 ㊦増加し、「増加」が10.8 ㊦減少している。また実車率は「低下」が9.2 ㊦減少し、「増加」が8.7 ㊦増加している。これはオミクロン株の登場により、荷動きの停滞がみられた影響だと考えられる。



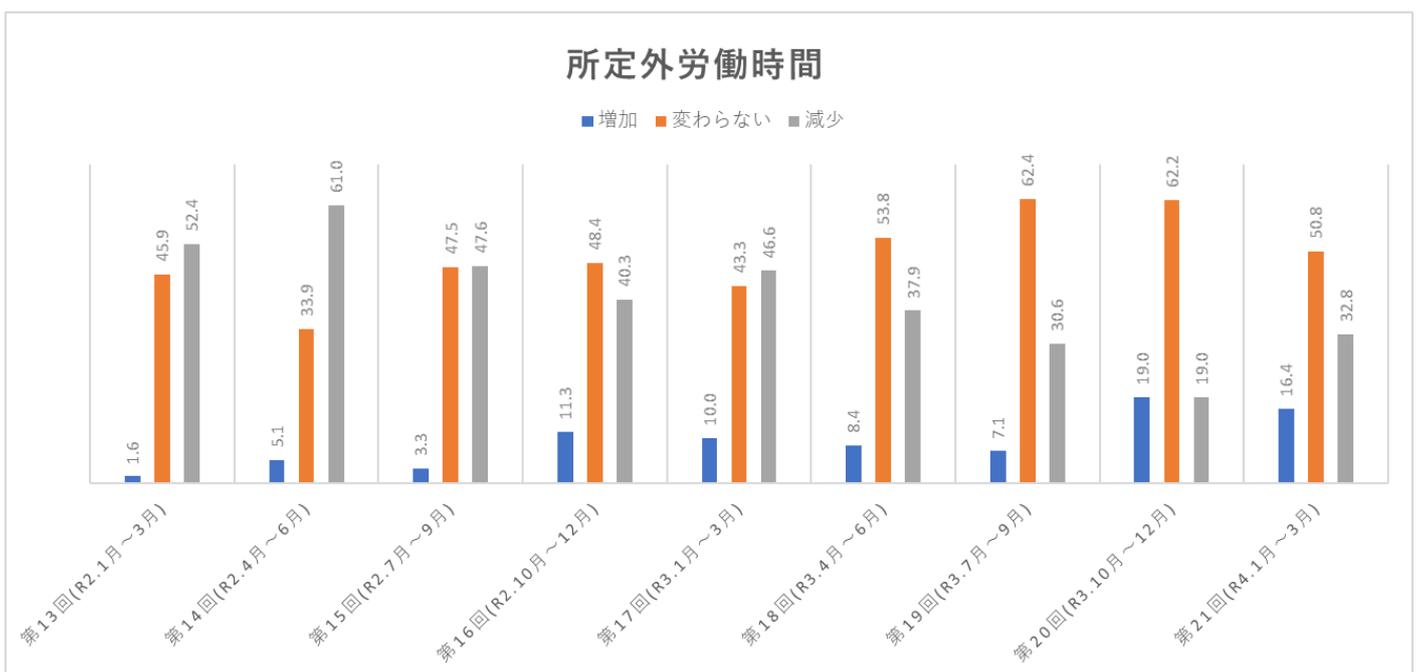
○ドライバーの過不足

ドライバーの過不足について「不足」との声が14.7 ㊦増加している。また「適当」との声は12.3 ㊦減少している。人材の確保が難しいとの声があり、特に新しく雇ったドライバーの定着率が上がらないとの声が多くあった。



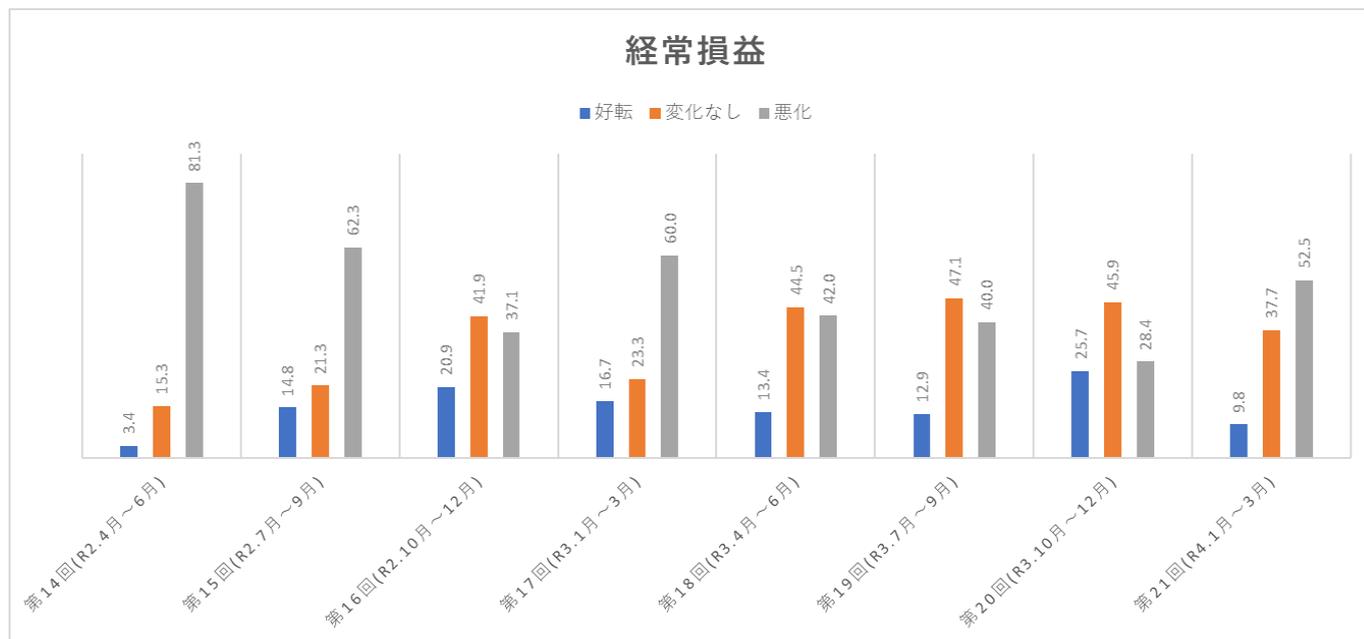
○所定外労働時間

所定外労働時間について「変わらない」との声が11.4 ㊦減り、「減少」との声が13.8 ㊦増加した。荷動きが減ったことで、ドライバー一人ひとりの仕事量が少なくなっていることが伺える。



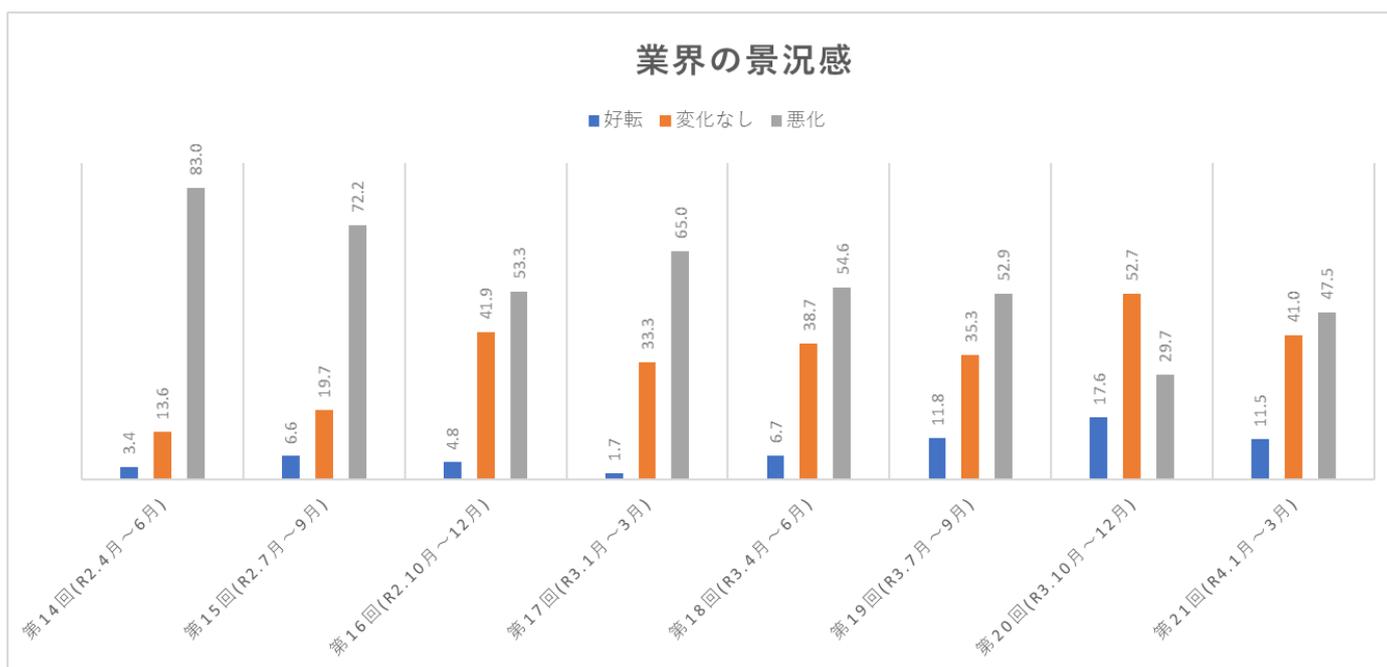
○経常損益

経常損益について「好転」が15.9 ㊦と大幅に減少し、「悪化」が24.1 ㊦と大幅に増加している。燃料価格の高騰のあおりを受け、経営状況が悪化している事業者が多くみられた。



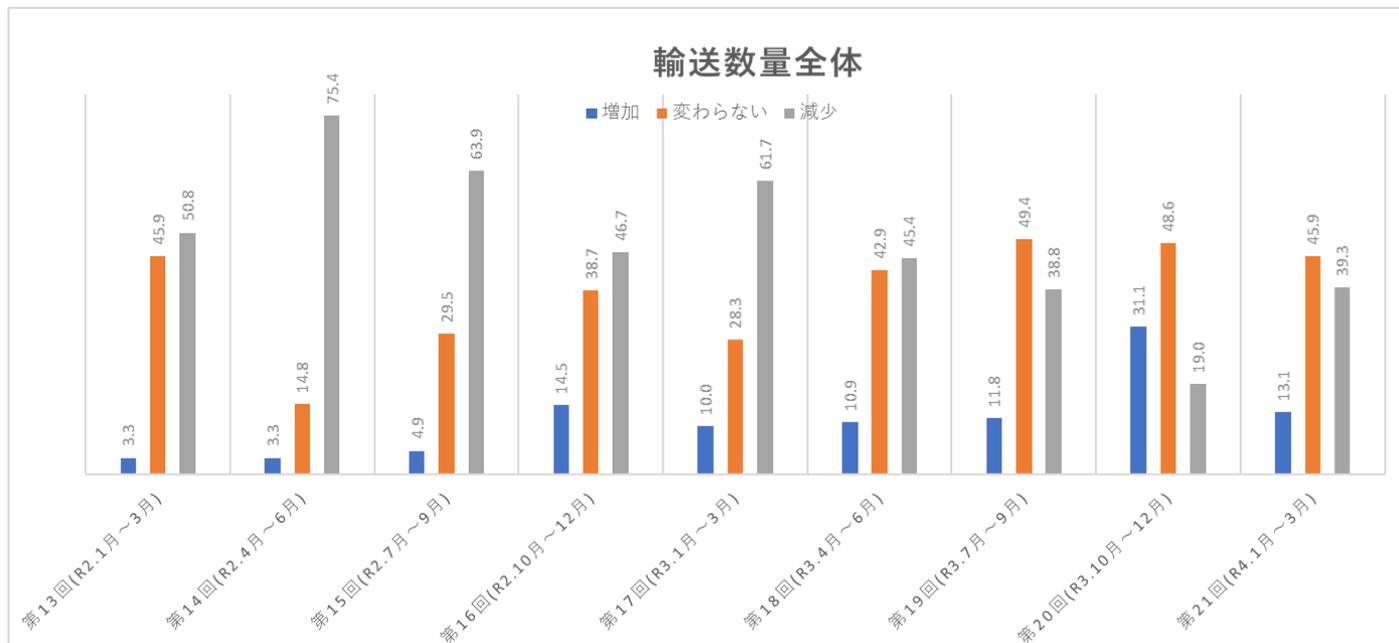
○業界の景況感

業界の景況感について「好転」が6.1 ㊦微減し、「悪化」が17.8 ㊦増加している。昨今の国際情勢の影響がトラック運送業界にも表れているものと考えられる。



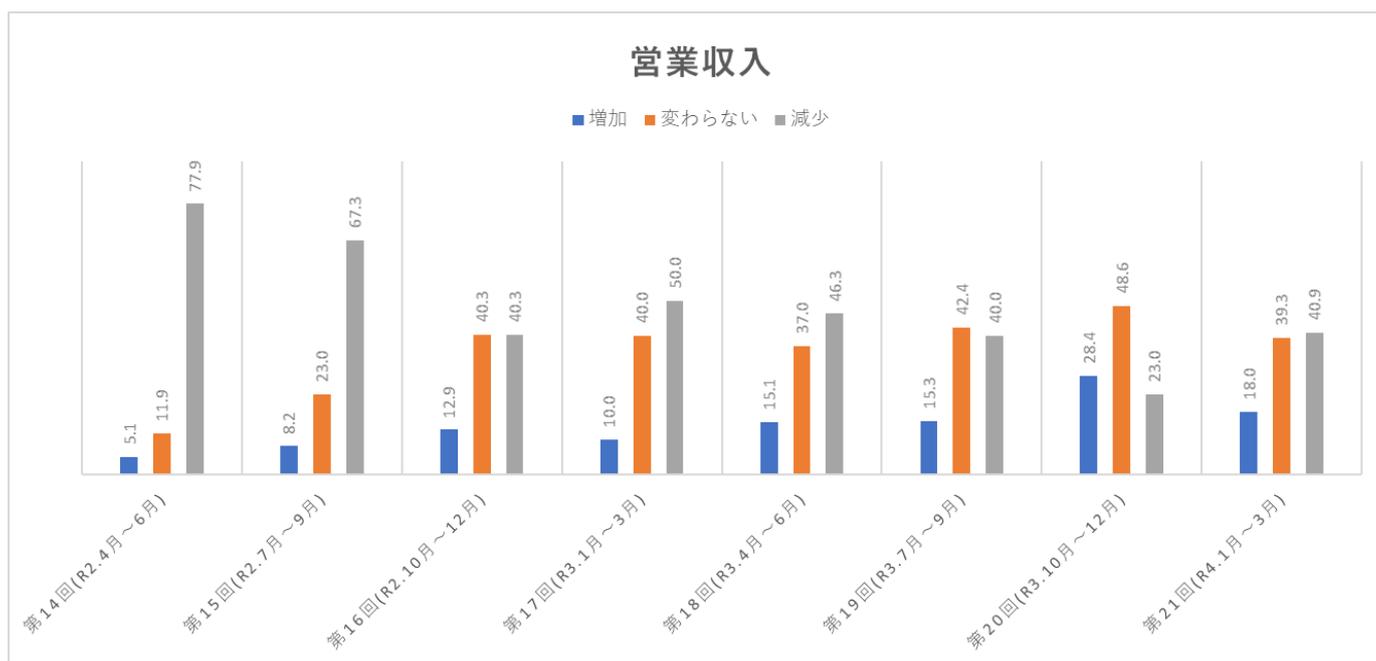
○輸送数量

輸送数量について「増加」が18.0 ㊦減少し、「減少」が20.3 ㊦と大幅に増えている。前期(R3 年度第3 四半期)では新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いたことにより、荷動きが活発になっていたが、今期は再びまん延防止等重点措置が発出されたことにより、荷動きの停滞がみられた。



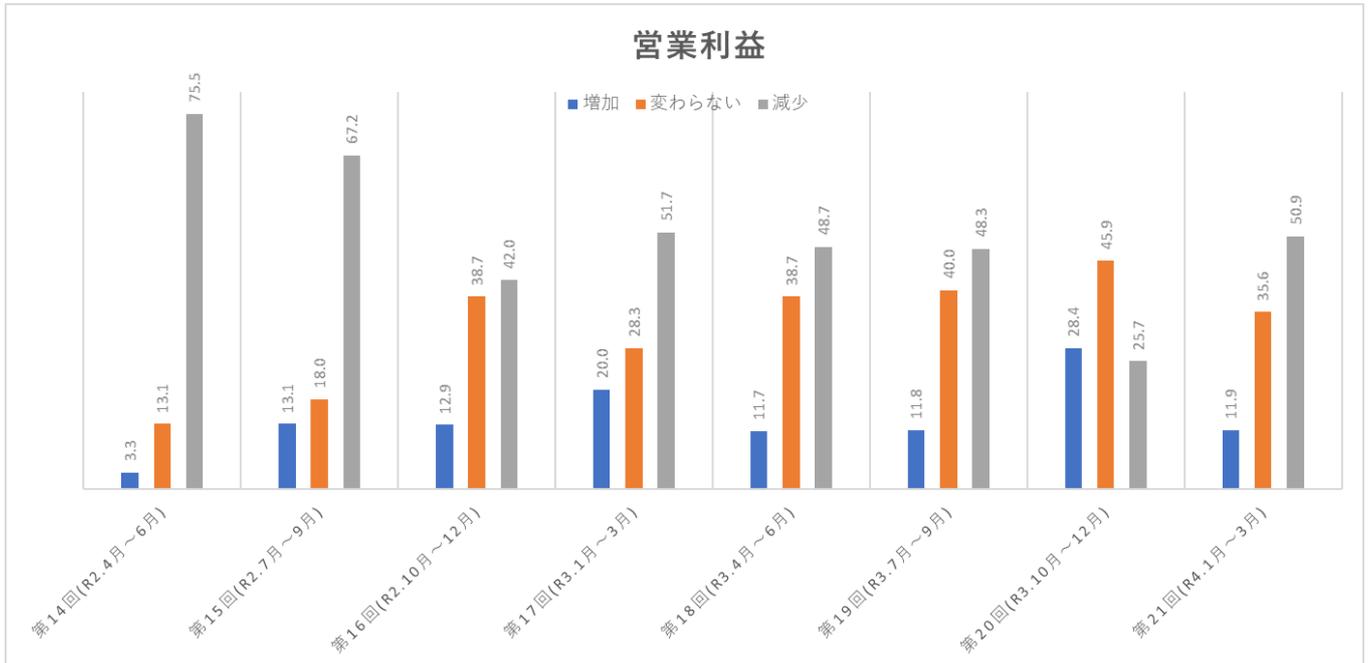
○営業収入

営業収入について「減少」が17.9 ㊦増え、「増加」が10.4 ㊦減少している。荷動きの停滞により収入が減っている事業者が多くあった。



○営業利益

営業利益について「増加」が16.5 ㊦減少し、「減少」が25.2 ㊦と大幅に増加した。これは燃料価格の高騰により、営業利益が減益している事業者が多くあった影響だと考えられる。



○運賃・料金の水準

運賃・料金の水準を見てみると「横ばい」の声が88.5 ㊦と圧倒的に多いが、「低下」という声がゼロになっており、トラック運送業界の現状について世間に広まっているように感じた。

